

## ～市長と語るまちづくり懇談会開催～

### 「人口減少と高齢化に伴い、地域の生活と活力をどう維持していくか ～持続可能な地域自治に向けて～」

9月26日、上久堅公民館で「市長と語るまちづくり懇談会」が開催されました。

「人口減少と高齢化に伴い、地域の生活と活力をどう維持していくか、持続可能な地域自治に向けて」をテーマに、各区長から地域役員の選出不足の深刻さを報告し、持続可能な地域運営に向けた体制の見直しなどについて市側と意見を交わし、アドバイスをいただきました。

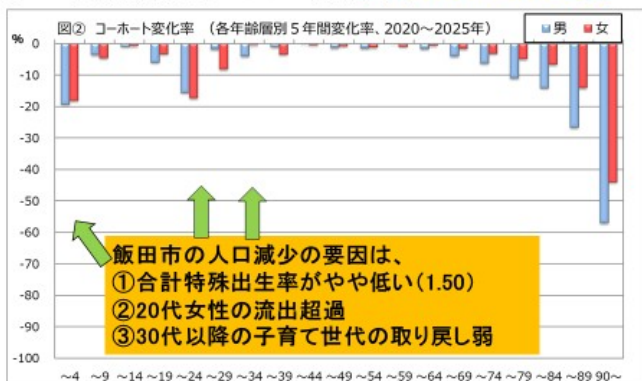


### ● 田舎へ還ろう戦略

はじめに佐藤市長から、人口減少の歯止めがなかなか利かないという中で、各地区で少しずつ人口減少を食い止め、取り戻しをして人口の安定化を図っていこうという「田舎へ還ろう戦略」の報告があまりました。

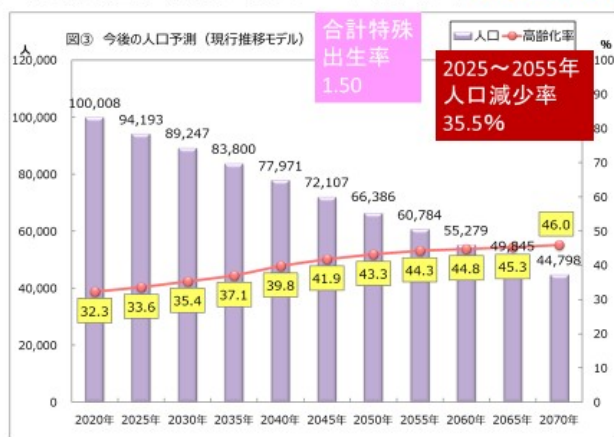
市で行った人口診断を基に、上久堅の高齢化率は5割に迫っており、75歳以上が3割近くなり、20代での流出超過が見られ、4歳以下の赤ちゃんの急減が注目され、今後10年で6割近い人口減少になると分析がありました。

②-2 年齢階層別の人口増減率(2020～2025年)



20代の流出超過をその後の年代で取り戻していない。ただし、20代の流出超過率は地方都市としては比較的低い。

(2) 現状推移予測 ①人口・高齢化率2020～2025年版

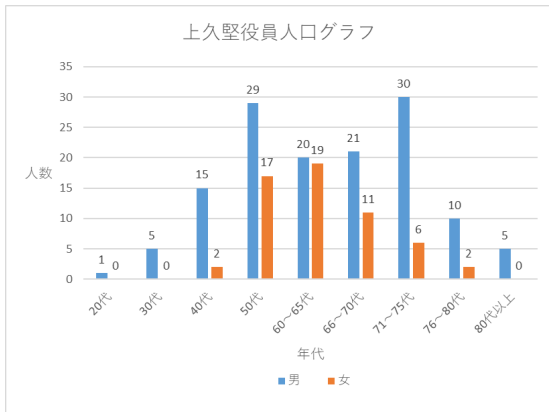


何もしないと、人口減少・高齢化が継続していく。

## ● 人口の安定化に向け

人口の安定化を図るために、上久堅では2年間で20代前半の男女が3組、30代の子連れ3組、定年で故郷に帰ってくるような60代が3組で、1年間に直すと4.5組10.5人の定住が必要との報告がありました。

これを受け「空き家対策委員会」から、定住の補助や“集落支援員”の派遣や育成支援を要望し、定住に向けた必要性を市と共有しました。



## 役員選出が深刻な状況

地区別の役員と世帯数では、役員数と世帯数がほぼ同数や、世帯数が下回っている地区は、世帯が増えないかぎり、この先に渡って世帯の誰かが役職を背負っていく状況で、高齢化で世帯が減少すれば役員の選出が難しくなり、過疎化が進む状況で、「すでに役員の選出が難しくなっている」との回答が5地区からありました。

役職は2年満期がほとんどと思いますが、1年後・3年後には役員更新期を迎え、凡そ220人余りの役員選出が必要で、恐らく選出が難しくなると思います。

## ● 事業や活動を見直し、少数運営へ

人口減少と高齢化で、地域の住民自治を支えている65～75歳の世代が、年々支えられる側に回り、今後はこの世代の人口が減り、次の世代を担う人口が減っており、従来のようなやり方では行き詰ってしまい、今のうちに組織の編成や機能を見直す必要があります。

現在5分館で行っているように、隣の区と連携し、分館割で役員選出し、役員数を減らしたコンパクトな組織運営が必要と考えられます。

役員数を減らすと役員の負担が大きくなるため、まずは事業や行事、作業や活動等の見直しを進め、組織編成を行い、少人数でも運営ができる役員体制が必要です。

区長や執行役員から、役員の負担となっている観光施設の維持管理作業や除草作業、リサイクルステーションの業者委託する案や、そのための助成などを求めました。

佐藤市長から、「役員数や組織編成は地区で決めていただくこと」と前置きし、「一緒に考えていかなければならないと思う。」と考えを示しました。

まとめとして、まちづくり委員会の原会長から「地区民全体で現状の課題を共有し、理解し、知恵を出し合い、協力しながら取り組んでいかないと解決できない点が多く、まずは事業や行事、作業、活動等の見直しを行い、役員の負担を減らした上で、少人数での組織づくりを進めていきたい。」と話し、締めくくりました。

## (2) 現状推移予測 ①人口・高齢化率2020～2025年版



放置すると、高齢化と人口減少(30年で半減)が進んでいく。

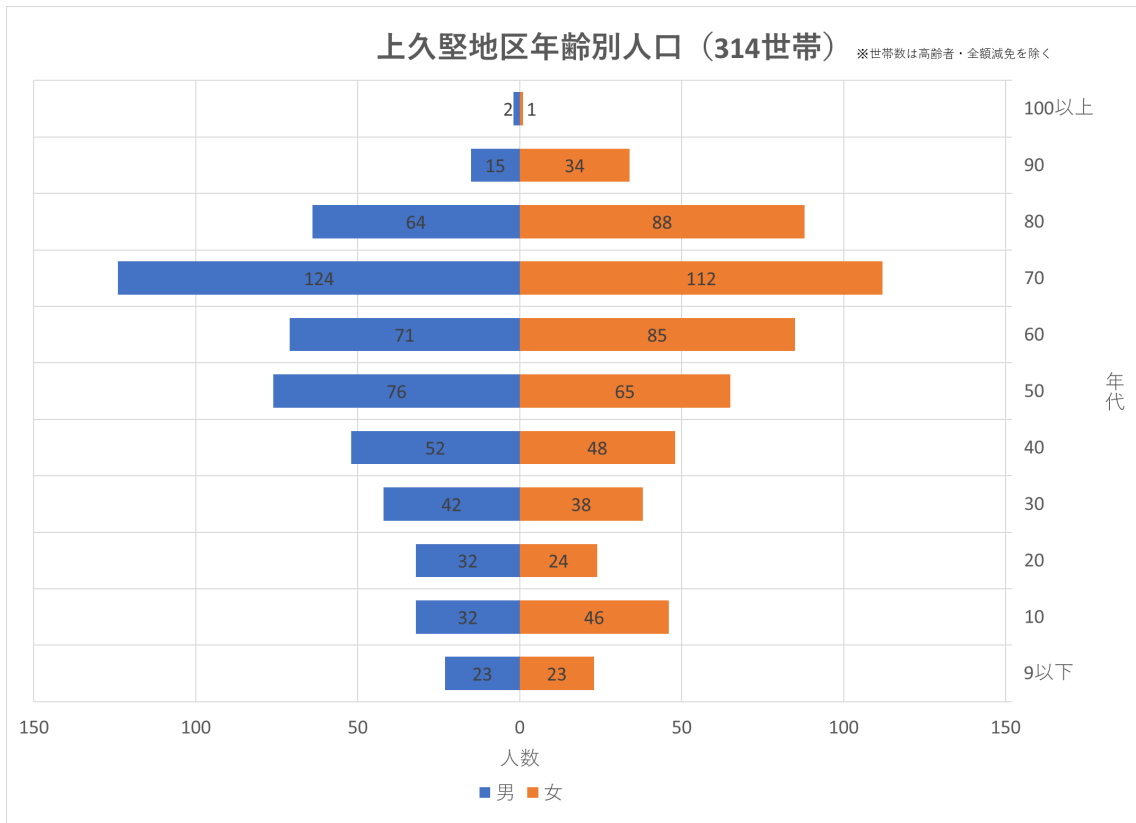
懇談会では、区長と執行役員を対象に行ったアンケートを基に、地域役員の選出状況や課題等を報告し市側からアドバイスをいただきました。

回答があった役員の人口グラフを見ると、40代～60代前半は「まちづくり委員会」や「公民館」の委員が多く、60代後半～75歳代は区長や分館長、執行役員など上の役職の方が多くみられ、上の役職はどうしても重複する役職も増え、会議も多く、また様々な行事や事業、作業や活動などに出席得ざるなっており、3つ以上の役職を重複している方が多くいました。

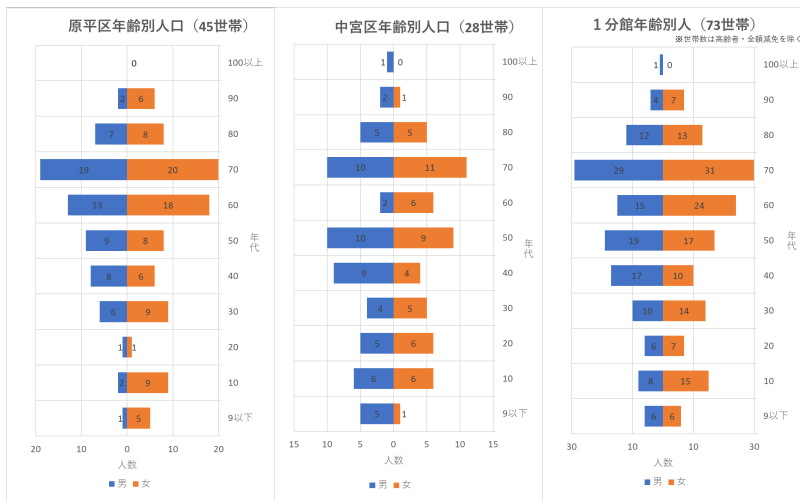
地区別世帯数・役員数

	20代	30代	40代	50代	60-65代	66-70代	71-75代	76-80代	80代以上	計	男女計	世帯数
原平区	男			2	4	5	5	1	1	18	28	45
	女			1	2	5	2			10		
中宮区	男	2	2	10	2	2	5			21	29	28
	女			2	3	3				8		
下平区	男			2	3	3	2			10	12	40
	女			1	1					2		
大鹿区	男		1			1	4	3		9	11	6
	女				1	1				2		
上平区	男									0	0	23
	女									0		
風張区	男		2	6	2	2	2	1	2	17	23	28
	女		1	1	3			1		6		
堂平区	男		1	1						2	5	16
	女				3					3		
起久保区	男			1	3	3	3			10	17	41
	女				4	1	2			7		
森区	男									0	0	11
	女									0		
小野子区	男			4	4	5	2	6		21	27	41
	女				4		1	1		6		
落倉区	男	1		1	1				1	4	8	6
	女			2	1	1				4		
平栗区	男		2	2	1		1	5	2	15	20	17
	女						1	3	1	5		
蛇沼区	男				2	2	4	1		9	13	12
	女				1	1	2			4		
計	男	1	5	15	29	20	21	30	10	5	136	
	女	0	0	2	17	19	11	6	2	0	57	193
計		1	5	17	46	39	32	36	12	5		

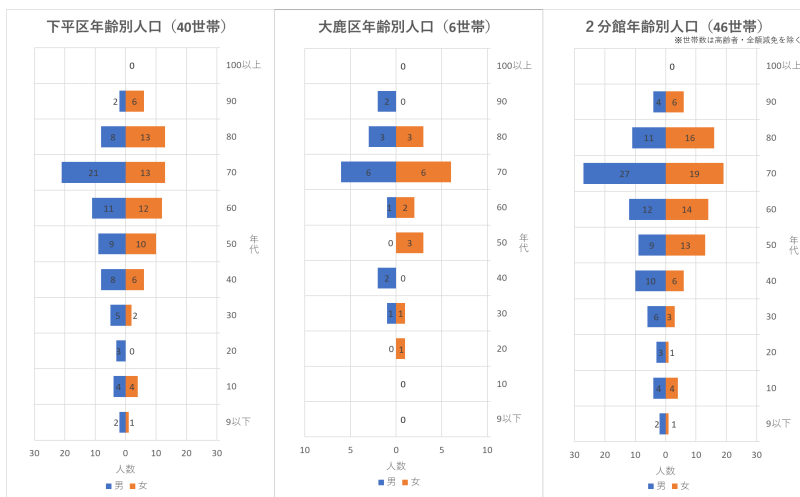
■ 上久堅年齢別人口（カッコ内は世帯数）※以下世帯数は、高齢者全額減免世帯を除く（R7. 4. 1 現在）



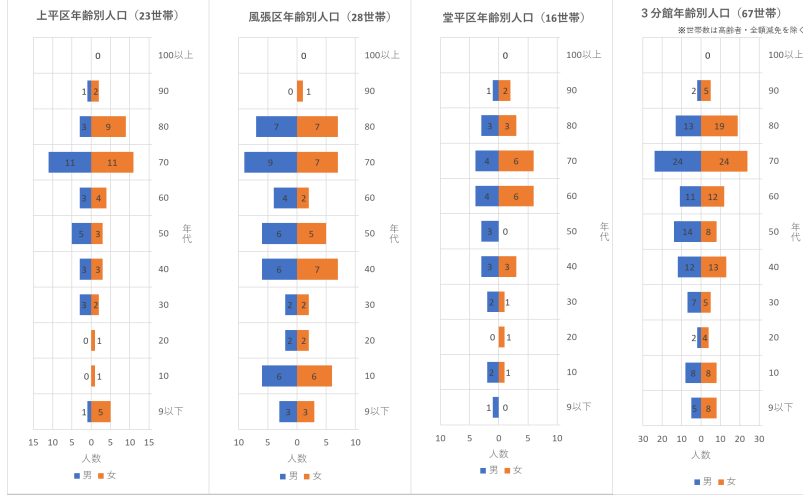
■ 1分館年齢別人口



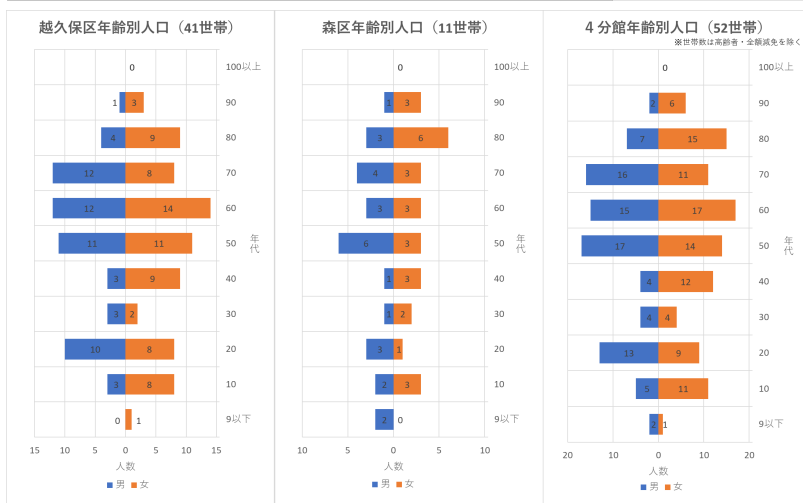
■ 2分館年齢別人口



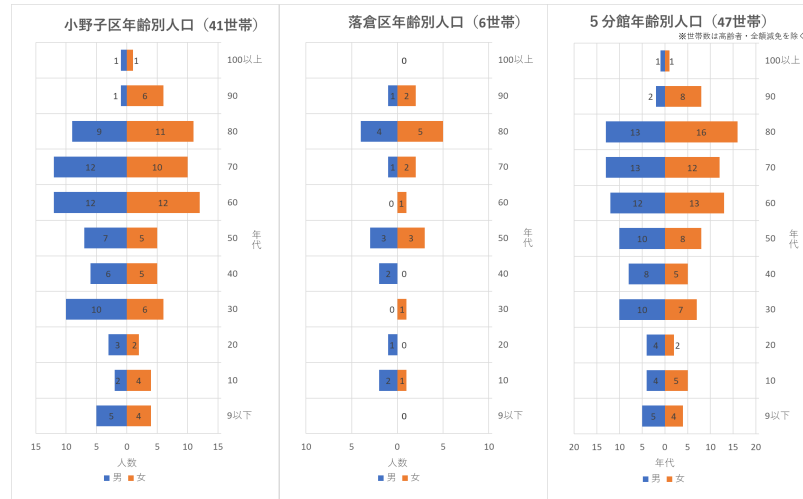
### ■ 3分館年齢別人口



### ■ 4分館年齢別人口



### ■ 5分館年齢別人口



### ■ 6分館年齢別人口

